

## 京都市立勧修中学校

### 教育目標及び子ども像・教職員像・学校像

#### 教育目標

「自治」・「友愛」・「真実」を尊ぶ心を育て、確かな学力の定着を図ることにより社会を逞しく生き抜く生徒の育成に努める。

#### 目指す子ども像

あらゆる学習・活動に主体的に参加し、共に学び合う生徒  
自他を大切にし、家庭・学校・地域を愛せる豊かな心を持つ生徒  
社会に目を向け、人権を尊重し、課題に向かうことのできる生徒

#### 目指す教職員像

生徒一人一人を徹底的に大切にする教育活動を推進し、指導力の向上に努める教職員  
家庭や地域の願いを受け止め、地域ぐるみの学校づくりを推進する教職員  
チームとしての組織力を意識して、リードし、補い合い、助け合う行動ができる教職員

#### 目指す学校像

「勧修中学校が大好きです」と言える学校に  
～生徒に、保護者に、教職員に、地域に愛される学校～

### 学校経営方針

- 人権尊重を基盤に生徒指導、学習指導を両輪とした指導体制を確立する。
- 安心安全な居場所としての学校づくりを目指し、命を大切にする教育を推進する。
- 学力定着に向けて、教職員の授業力の向上を図り、学校の教育力と家庭・地域等の教育力の融合を進めるとともに、学校評価を生かして自校の課題と改善点を検証していく。
- 総合育成支援教育の視点を、個々の生徒の実態把握や支援の必要な子どもへの支援のあり方等、授業をはじめとして、あらゆる教育活動で実践する。
- 道徳教育の充実を図ると共に、教師自らの規範意識を向上させ、子どもが安心して登校できる学校の環境づくりに努める。
- 関係機関（社会福祉協議会・山科青少年活動センター）やNPO法人（山科・醍醐こどもの広場）さらに地域の方々との連携を図り、子どもの学力向上や進路実現に向けた支援活動の充実を図る。
- 学校運営協議会のより具体的な取組や在り方について研究を推進する。
- 子どもたちが、将来に向けて視野を広げ、あらゆる視点から未来を考えられるキャリア教育を実践する。